



無線制御システム
((●)) ライコネックス
LICONEX
—— Version3.0 ——

操 作 説 明 書

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

目次

電波の使用に関する注意	P04
-------------	-----

LiCONEX システムの概要	P06
-----------------	-----

1 用語説明	P07
2 システム構成	P08
3 無線通信の注意点	P09
4 ベースモジュールの各部の名称	P11
5 タブレットの接続のしかた	P12
6 基本の画面構成	P15

照明の制御のしかた	P16
-----------	-----

1 配灯画面のみかた	P17
2 基本制御(点灯・消灯／調光／調色)	P19
3 シーン制御	P23
4 スケジュール制御	P24
5 センサ制御	P25
6 セクション表示	P27

各種設定のしかた	P28
----------	-----

1 シーン設定	P29
2 スケジュール設定	P31
3 指定日スケジュール設定	P34

システム設定	P38
--------	-----

1 システム設定画面への移動	P39
2 システム設定項目	P40
3 グループ設定	P42
4 インポート／エクスポート設定	P44
5 システム最大調光率	P45
6 センサ設定	P46
7 照度センサ設定	P47
8 人感センサ設定	P49
9 起動時点灯設定	P52

スイッチ設定	P54
--------	-----

1 システム設定画面への移動	P55
2 システム設定項目	P56
3 スイッチ設定(壁掛タイプの場合)	P57
4 スイッチ設定(壁埋込タイプの場合)	P60

システム拡張について	P64
------------	-----

1 ベースモジュールの照明制御台数拡張 と複数台構成	P65
-------------------------------	-----

お困りのときは	P66
---------	-----

付録	P69
----	-----

保証とアフターサービス	裏表紙
-------------	-----

電波の使用に関する注意

本機に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本機の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

- 本機の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本機の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。
- 本機は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本製品の使用による免責事項について

本機を用いて2.4GHz帯の無線データ通信を行う場合、下記の用途には使用できません。また、当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- 医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- 故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本製品の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客様側による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する一切の責任も負いかねます。

■セキュリティに関する注意

2.4GHz帯の無線データ通信は電波を使ってデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線LANを使用する際は、その危険性を十分に理解し、データの安全を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

■電波防害について

下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

- 本機と照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 本機と照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 本機の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- 金属物の壁面に本機を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 本機または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 本機または照明器具の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
- 展示会場やイベント会場など人が集まる場所。

送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため、照明器具と本機は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。

電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。

内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。

LiCONEX システムの概要

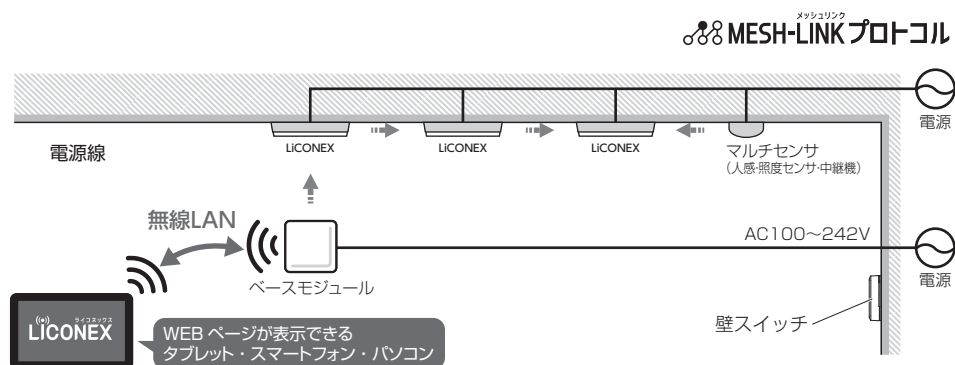
LiCONEX システムの構成図や設置条件、基本の操作画面の概要について説明します。

- 1 用語説明.....P07
- 2 システム構成.....P08
- 3 無線通信の注意点.....P09
- 4 ベースモジュールの各部の名称.....P11
- 5 タブレットの接続のしかた.....P12
- 6 基本の画面構成.....P15

1 用語説明

メッシュリンク	LiCONEXに搭載されている、アイリスオーヤマのオリジナル無線通信方式のこと。
ベースモジュール (BM)	無線LAN機能やメッシュリンクの親となるBLEモジュールを備えた機器のこと。 OMを最大4つ搭載できる。
オーガナイジング モジュール (OM)	親機モジュール。 BMに内蔵されているBLEモジュール。 全体ネットワークの親となる。
ブロック	1台のOMが操作する範囲。
グループ	ユーザが決定する灯具の群。 最大100グループまで登録できる。
MACアドレス	ネットワーク接続する機器すべてに付与されている 符号。重複しないように割り当てが決まっている。

2 システム構成



LiCONEX (ライコネックス) は、無線により照明を制御するシステムです。タブレットとベースモジュール (BM) は「無線LAN (IEEE802.11g)」により通信し、ベースモジュールから照明には、当社オリジナルの「メッシュリンクプロトコル」により通信します。

「メッシュリンクプロトコル」は空いている周波数チャンネルを自動で検索する「適応型チャンネルホッピング」で耐障害性を強化したオリジナル通信方式です。

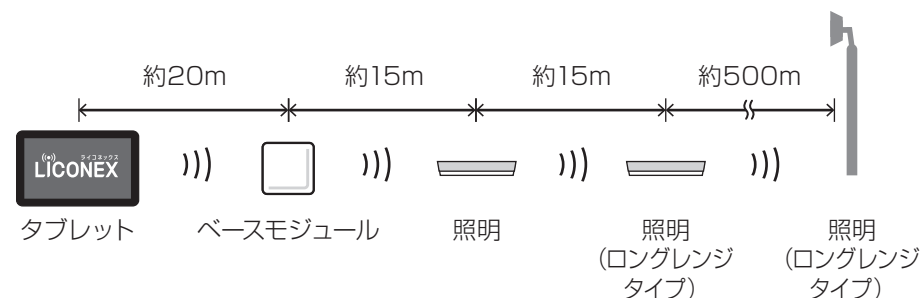
**ベースモジュールは常に通電した状態にしてください。
WEBページの操作や照明制御ができなくなります。**

3 無線通信の注意点

■設置条件と通信距離

無線通信には通信距離に制限があります。
下記の通信距離以内になるように設置してください。

- ・タブレットとベースモジュールの通信距離：約20m
- ・ベースモジュールと照明の通信距離：約15m
- ・照明同士の通信距離：約15m (ロングレンジタイプ：約500m)



水平地点で見通しが良い場所に設置

※設置環境によっては電波が届きにくい場合があります。通信可能距離を超える場合でも、中継機 (別売) やメッシュリンクユニット (別売) を設置することで通信できる可能性があります。

※障害物 (天井高、防火扉、梁、コンクリート、金属等の壁の素材) がある場所や屋外であっても、ロングレンジ対応の製品を使用することで通信できる可能性があります。

詳しくは当社営業担当までお問い合わせください。

3 無線通信の注意点 つづき

■通信復帰時間について

照明の電源をオフにすると通信が遮断されます。電源を再度オンにした際、通信が復帰するまでに一定の接続時間がかかります。

通信が復帰するまでの間は、制御状態にかかわらず以下設定のいずれかで点灯します。（接続時間は接続する照明の台数により異なります。（30秒～2分程度））復帰するまでは無線制御はできません。

①システム最大調光率

LiCONEX導入時に設定した調光率の最大値で点灯

②設定した調光率

「①システム最大調光率」を基準として設定した調光率

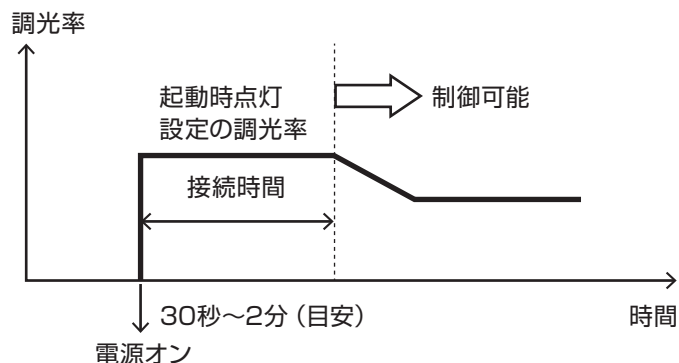
③最終状態の調光率

終業時など、消灯時の調光率を再現して点灯

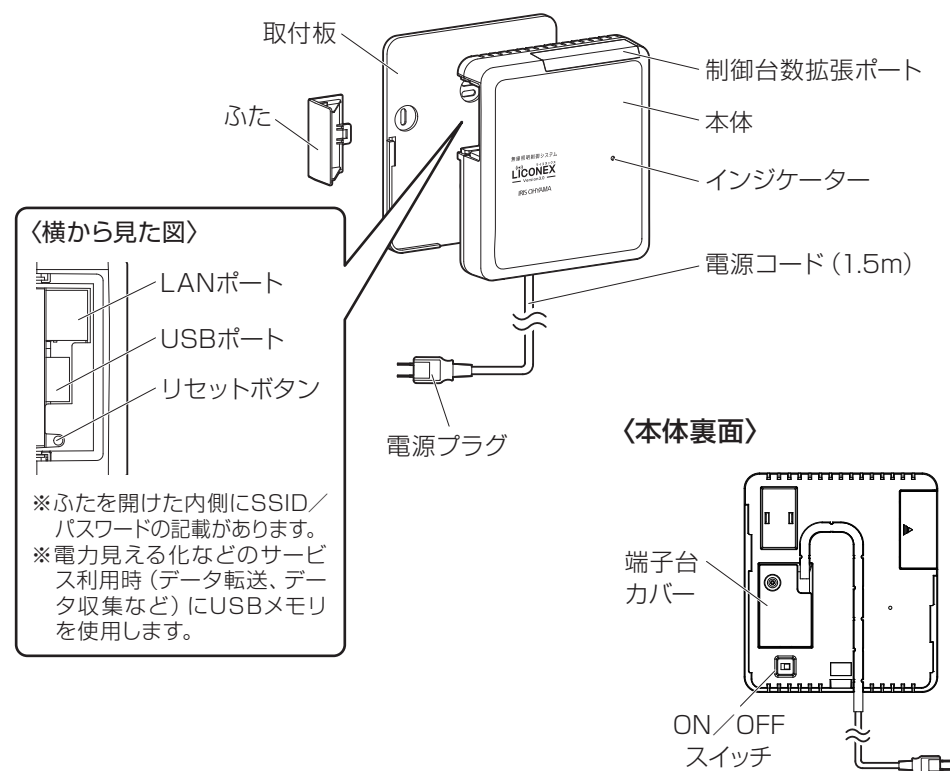
④現在の調光率

現在、個別またはグループ単位に設定されている調光率で点灯

※詳細はP52をご参照ください。



4 ベースモジュールの各部の名称



■仕様

品番	IRLI-BM-V3
サイズ(mm)	W170 × H150 × D46
消費電力(W)	3.0(100V時)
質量(kg)	0.6
主要材質	ABS樹脂

●定格電圧：AC100～242V
（付属電源コードは100V専用）

●定格周波数：50/60Hz

●使用環境温度：5～35℃

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■制御台数の拡張について

拡張ユニットを使用することで、1ユニットごとに1000台まで追加できます。

5 タブレットの接続のしかた

LiCONEX システムをコントロールするためのタブレットを、ベースモジュールに接続する方法を説明します。

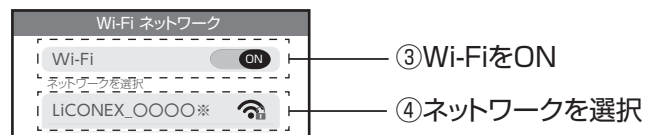
(タブレットのほか、スマートフォン、パソコンでも利用可能です。)

・推奨仕様

タブレット端末OS	Android 5.1 以降 iOS 9 以降
対応ブラウザ	Android: Chrome Ver.58.0 以降 iOS: Safari Ver.10.0 以降
画面解像度	1920 X 1080 以上 (ディスプレイは10インチ以上推奨)
無線LAN	IEEE802.11g

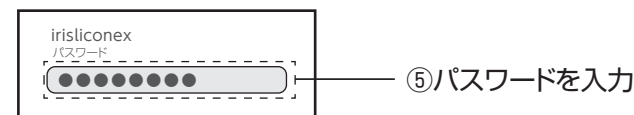
・接続のしかた (Android、iOS共通)

- ①タブレットの時刻を正確に設定します。(スケジュール制御の設定などに影響します。最低1か月に1回同期してください。)
- ②ベースモジュールのスイッチをONにします。
- ③タブレットの「設定」から「Wi-Fi」を選択しONにします。
- ④ネットワーク欄に表示されるネットワーク名(SSID)を選択します。

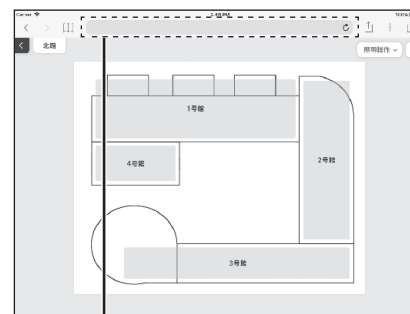


※ネットワーク名はお使いの環境によって異なります。
ベースモジュールに記載のSSIDとパスワードをご確認ください。(P11)

- ⑤パスワードを入力してください。接続が完了します。



- ⑥WEBブラウザを起動し、アドレス欄に以下のURLを入力すると、LiCONEX制御画面が表示されます。



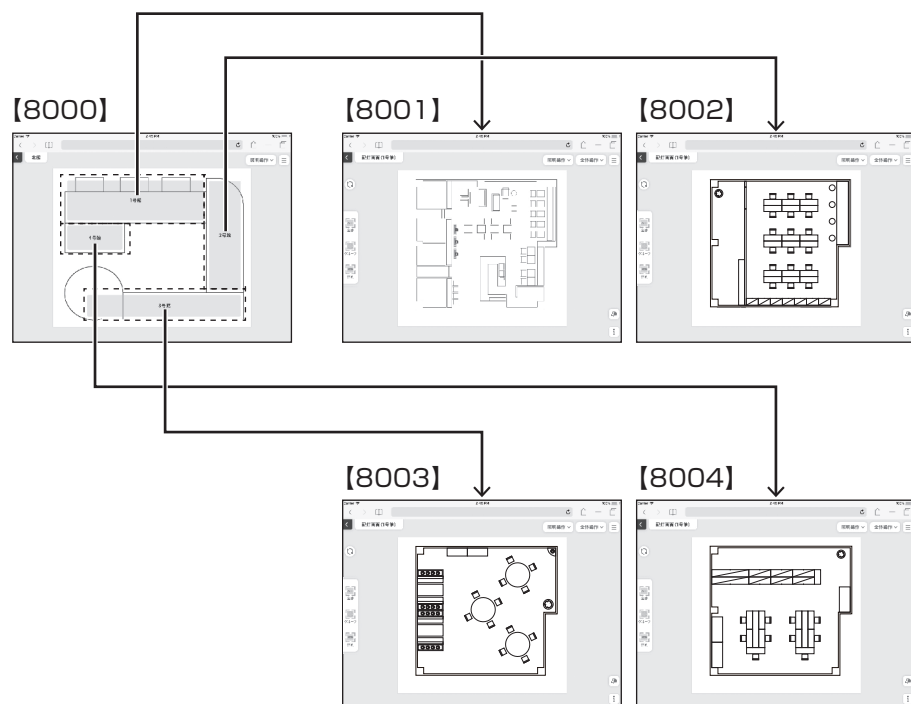
- ⑥URLを入力

http://192.168.14.70:8000~8004



★URLの末尾4桁によって画面が変わります。
(8000の画面 (ベースモジュール画面) から各部屋をタップして移動することもできます。)
～:8000…ベースモジュール画面 (各配灯画面の構成画面)
～:8001～8004…各配灯画面 (最大4画面)

5 タブレットの接続のしかた つづき



※施工後、8001～8004のフロアに名称が付きます。ご不明の際は弊社担当へご連絡ください。

※URLは施工場所によって異なる場合があります。ご不明の際は弊社担当へご連絡ください。

※同一のタブレットで複数のベースモジュールを操作する場合、必ずキャッシュをクリアしてください。

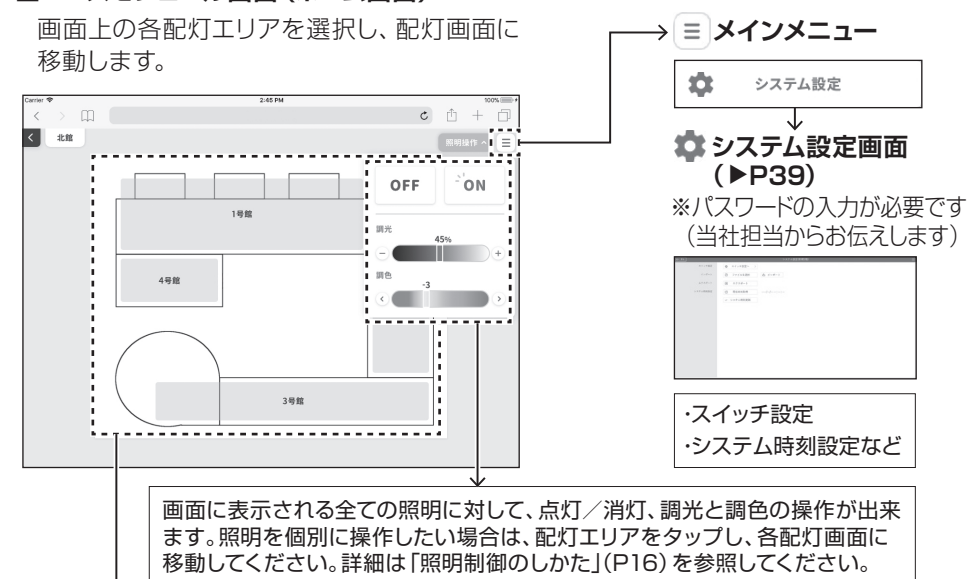
6 基本の画面構成

※お客様の使用環境などによって画面が異なります。

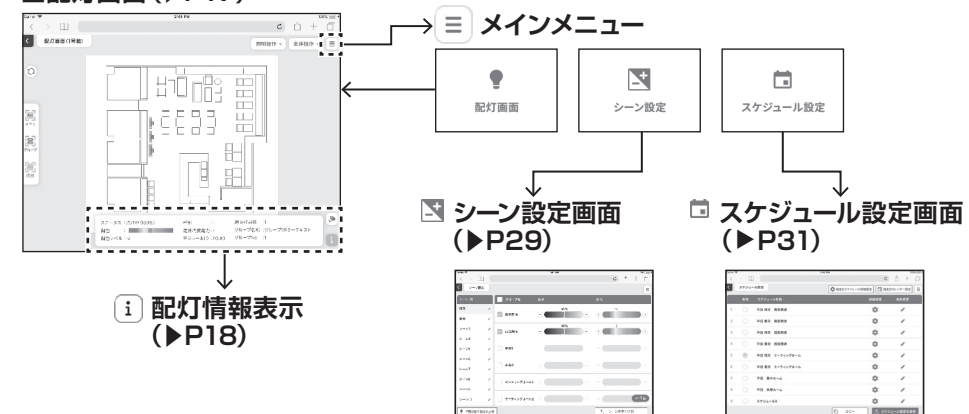
LiCONEX システムを制御するアプリケーションの画面構成です。ベースモジュール画面をホームとして図のように画面移動を行えます。それぞれの画面での操作方法是各頁を参照してください。

■ベースモジュール画面（ホーム画面）

画面上の各配灯エリアを選択し、配灯画面に移動します。



■配灯画面 (P17)



照明制御のしかた

点灯・消灯、調光の基本制御、シーンやスケジュール、センサを活用した自動制御のしかたなど、LiCONEXを用いた照明の制御のしかたを説明します。

※操作はベースモジュールと通信できるエリア（通信距離約20m以内、水平地点において見通しが良いところ）で行ってください。

- 1 配灯画面のみかた……………P17
- 2 基本制御(点灯・消灯／調光／調色)……………P19
- 3 シーン制御……………P23
- 4 スケジュール制御……………P24
- 5 センサ制御……………P25
- 6 セクション表示……………P27

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

1 配灯画面のみかた

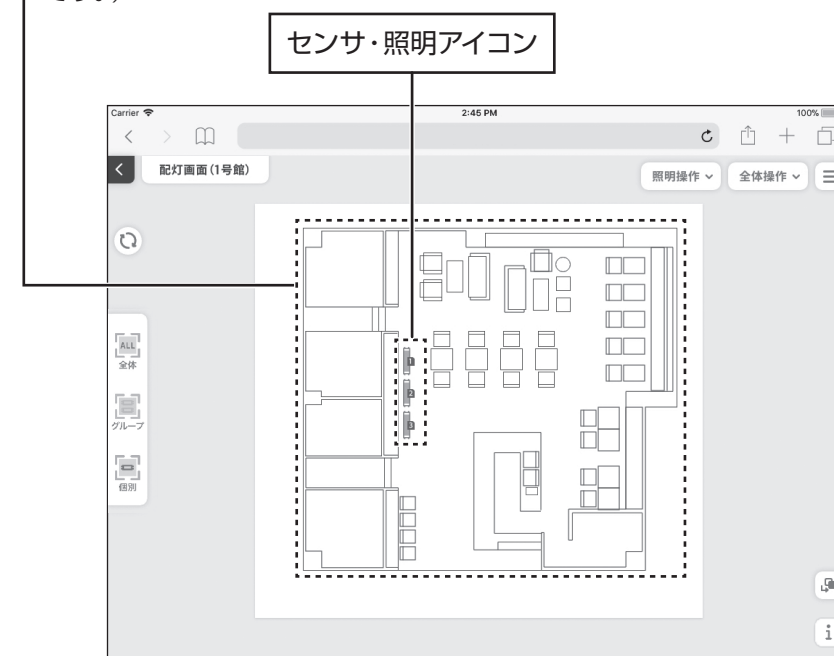
■配灯図表示エリア

配灯図を表示します。照明は照明アイコンで表示されており、選択して制御を行います。（照明の制御台数は最大4000台です。うち、一画面の制御台数は最大1000台です。）

[照明アイコンの色と状態]

ブラック	… 消灯
スカイブルー	… 点灯
グリーン	… センサ連動中
レッド	… エラー／ソフト更新中
グレー	… 認識不能／電源OFF 初期化中、状態未更新

❗ 左のマークが同時に表示されます。



[その他画面操作でできること]

■配灯画面の移動

スワイプで移動ができます。

■配灯画面の拡大・縮小

ピンチアウト・ピンチインで拡大・縮小ができます。

1 配灯画面のみかた つづき

■更新ボタン

照明の状態を取得し、画面の情報を更新します。

■コントロールパネル

照明の各種制御を行います。

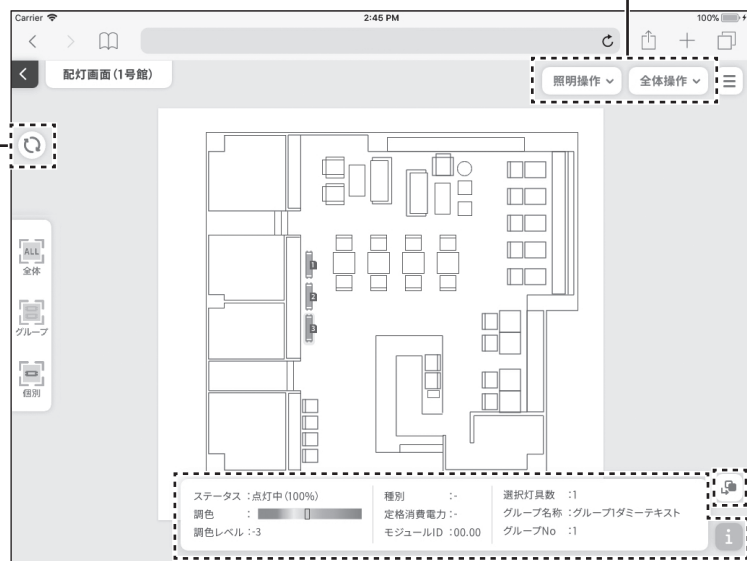
[照明操作]

照明のON/OFF、調光および調色を設定します。



[全体操作]

各制御モードを設定します。



■インフォメーション

最後に選択した照明の情報、または選択中の照明数を表示します。

■セクション移動

登録したセクションを選択し、各セクションへ移動します。

2 基本制御（点灯・消灯／調光／調色）

点灯・消灯／調光／調色の設定を行います。

1 制御を行う照明を選択します。

選択モードを切り替えて、制御対象の照明を選択します。

①画面左端の選択モードを切り替えます。



[ALL 全体] モード…全ての照明を選択します。



[グループ] モード…照明が登録されているグループ単位に選択します。
（グループの登録／変更の方法は、
P42「3 グループ設置」をご参照ください）



[個別] モード…照明を個別に選択します。

②配灯図の照明アイコンをタップします。

選択したモードに従い、照明が選択されます。

※照明が選択されると、画面右側に照明操作パネルが表示されます。

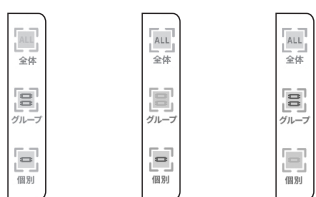
※配灯図表示エリア右下の*i*をタップすると、最後に選択した照明の情報、または現在選択している照明数が表示されます。

2 基本制御（点灯・消灯／調光／調色）つづき

1-①

選択モードを
切り替え

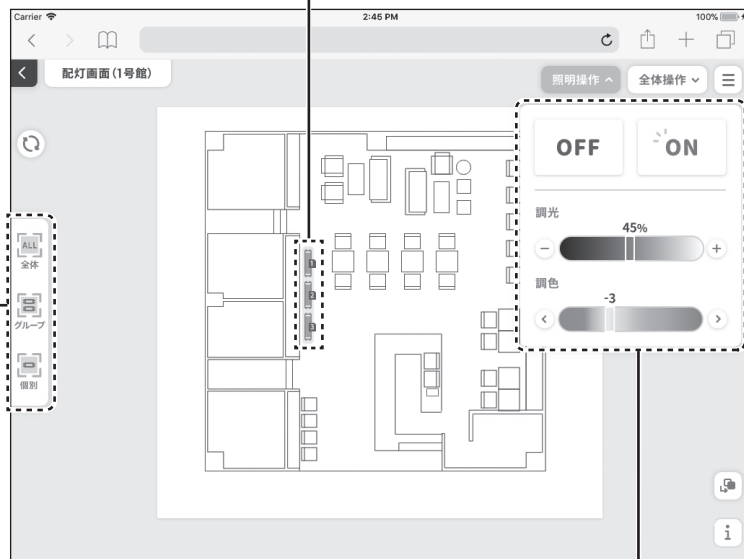
[全体]を
選択 [グループ]を
選択 [個別]を
選択



1-②

照明アイコンをタップして選択／解除

選択している
状態 選択していない
状態



照明が選択されると、画面右側に
照明操作パネルが表示されます。

2 選択した照明に対し、制御を行う。

①点灯・消灯



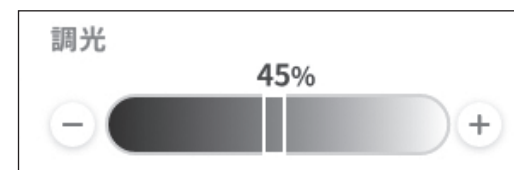
... 選択した照明を点灯させます。
(点灯時の明るさは設定されたシステム最大調光率の100%です。)



... 選択した照明を消灯させます。
(消灯状態にした場合、再び点灯させない限り、他の制御が効か
なくなります。)

②調光

調光率を指定すると、選択した照明が調光されます。



0%～100% (5%刻み) を選択できます。

③調色

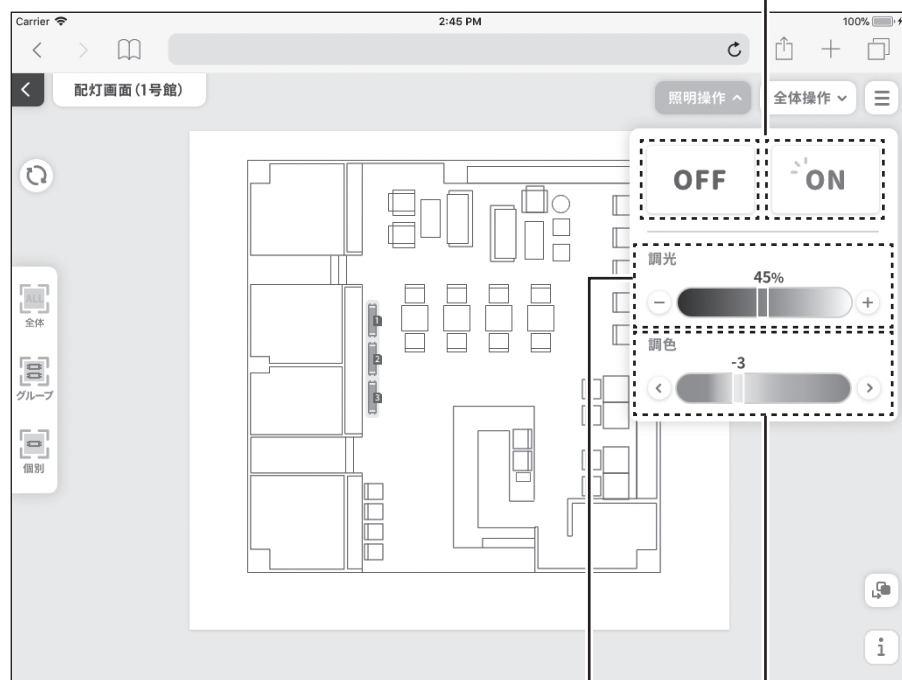
調色 (色温度) を指定すると、選択した照明が調色されます。



調色範囲：-10 +10を選択できます。

2 基本制御（点灯・消灯／調光／調色）つづき

2-① 選択した照明の 点灯／消灯



2-② 選択した照明の明るさ (調光率)を設定

2-③ 選択した照明の色味 (調色率)を設定

3 シーン制御

シーンの設定を行います。

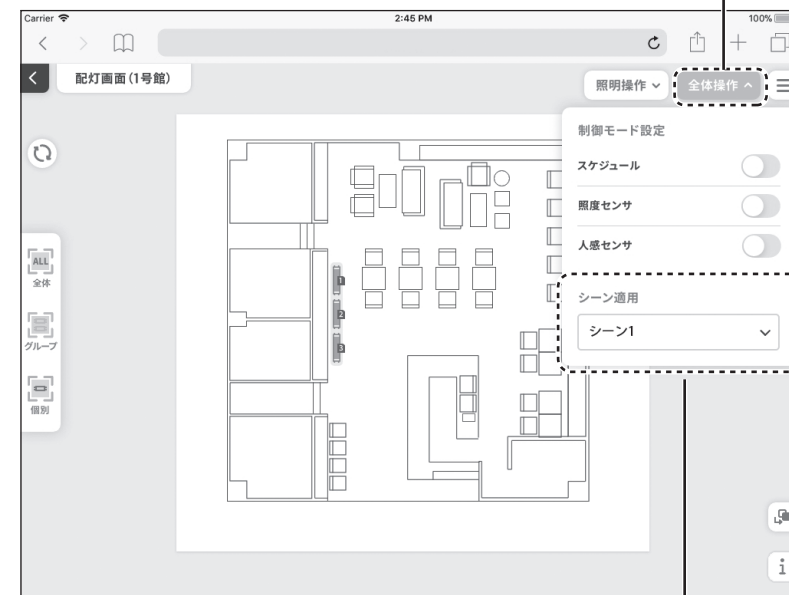
1 全体操作パネルを表示します。

画面右上の「全体操作」をタップし、全体操作パネルを表示します。

2 シーンを設定します。

全体操作パネルの「シーン適用」から適用するシーン名を選択します。
選択するとシーンが再生されます。

1 全体操作パネルの表示



2 適用するシーン名を選択

選択	▼
シーン1	
シーン2	

4 スケジュール制御

スケジュールの設定を行います。

1 全体操作パネルを表示します。

画面右上の「全体操作」をタップし、全体操作パネルを表示します。

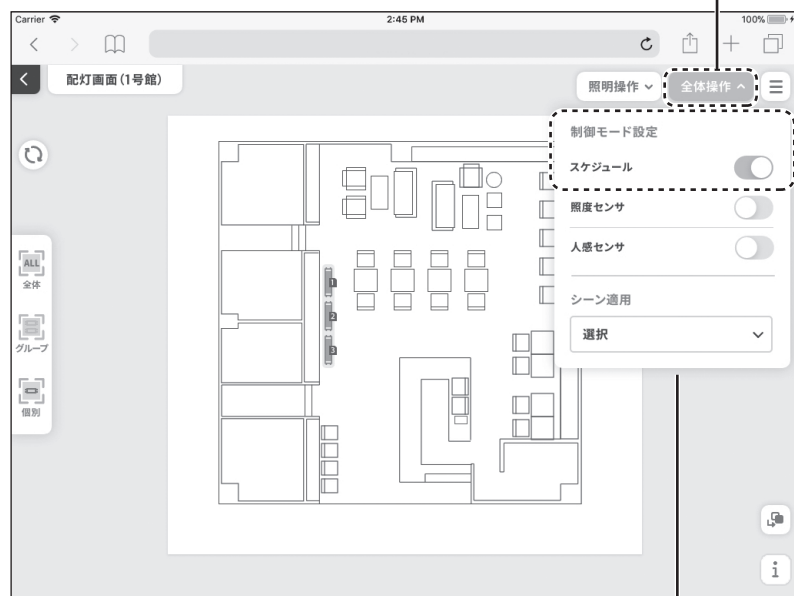
2 スケジュールをONにします。

全体操作パネルの「制御モード設定」から「スケジュール」をONにします。

※スケジュールをONを行うと全照明グループに反映されます。

配灯図グループから個々に照明を選択していてもスケジュール動作が優先されます。
(消灯状態の照明にはスケジュール制御が適用されません。照明を点灯させた場合、スケジュール制御が適用されます。)

1 全体操作パネルの表示



2 設定したスケジュールを反映

5 センサ制御

マルチセンサや照明のセンサの設定を行います。

本項では、当社製品のマルチセンサについての制御方法を記載します。
マルチセンサとは、人感センサ機能、照度センサ機能、中継機能を備えたセンサです。詳細は (P26) をご参照ください。

1 全体操作パネルを表示する

画面右上の「全体操作」をタップし、全体操作パネルを表示します。

2 照度センサまたは人感センサをONに設定する

全体操作パネルの「制御モード設定」から「照度センサ」または「人感センサ」をONに設定します。

※同じシステム内に設置可能なセンサ数は、最大400です。

※1つのセンサで、照度センサ機能と人感センサ機能との同時使用はできません。

※同じシステム内に複数のセンサが設置されている場合は、それぞれのセンサが有効となります。

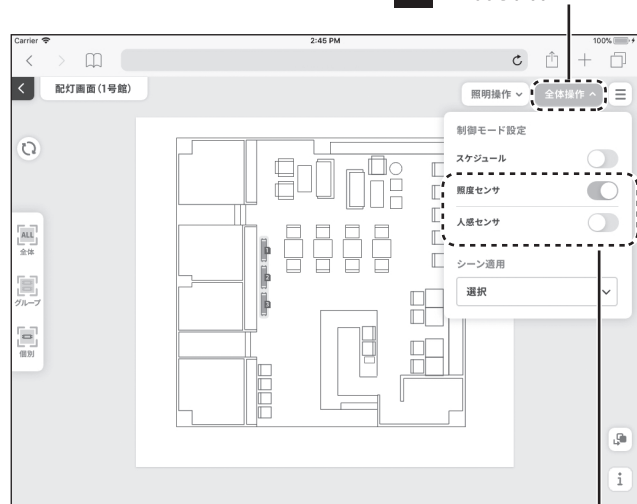
例) 同一システム内に、センサA、センサBが設置

- ・センサAは人感センサ、センサBは照度センサとして、それぞれ使用できます。
- ・センサAを人感センサ + 照度センサとしては使用できません。

詳細はマルチセンサの取扱説明書をご参照ください。

5 センサ制御 つづき

1 全体操作パネルの表示



2 照度センサまたは人感センサをONに設定

※人感センサ機能のON/OFFを切り替える時、制御対象になっている照明が一時的に消灯し再度点灯します。

※人感センサのON/OFFも、スケジュール制御できます。

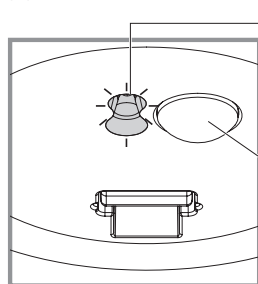
例) 人感センサを時間帯で制御する

- ・夜間…人感センサをONにする
- ・日中…人感センサをOFFにする

この場合、スケジュール：ON、人感センサ：OFF に設定してください。(→P69)

※人感センサをOFFにすることで、スケジュール機能から制御可能となります。

各センサモードになると、表示灯が点灯します。



表示灯

- “赤”点灯→照度センサーモード
- “緑”点灯→人感センサーモード
- “緑”点滅→センサーモードOFF
- 中継器モード(未設定時)
- “赤”点滅→異常時

人感センサ

※中継器は点灯に関係なく常に働いています。

※センサ付き照明の表示灯については各照明の取扱説明書をご参照ください。

図.マルチセンサ(人感センサ・照度センサ・中継器)

6 セクション表示

各セクションごとに照明を登録してまとめて表示できます。

登録したセクションの制御を行います。

お客様のお好みに合わせて、表示したい照明の範囲を表示※・設定できる機能です。

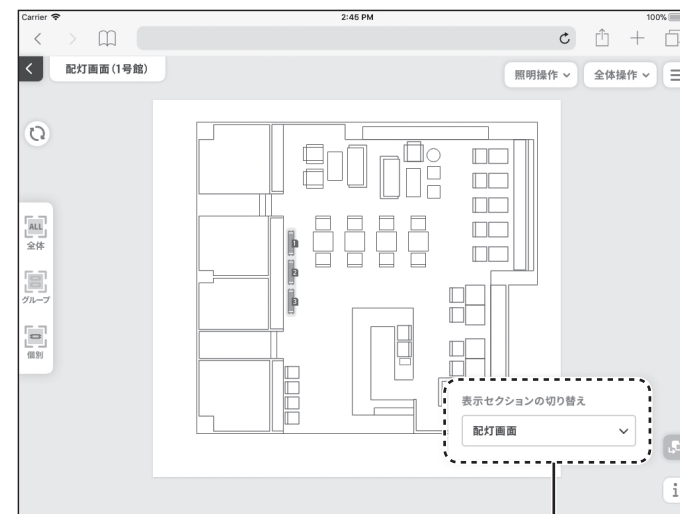
※セクションの登録はシステム設定画面から設定可能です。詳細はP42「3 グループ設定」をご参照ください。

登録したセクションの表示方法

画面右下の「表示セクションの切り替え」から、適用するセクション名を選択します。

復帰方法

「表示セクションの切り替え」から **配灯画面** を選択してください。



配灯画面1	▼
配灯画面1	
配灯画面2	
配灯画面3	

登録したセクションを選択し、各セクションへ移動します。

各種設定のしかた

照明の自動調光機能、シーン制御とスケジュール制御について、設定のしかたを説明します。

初期の設定については当社担当が行います。設定の変更や追加の際に操作してください。

※設定操作はベースモジュールと通信できるエリア（通信距離約20m以内、水平地点において見通しが良いところ）で行ってください。

1 シーン設定.....P29

2 スケジュール設定.....P31

3 指定日スケジュール設定.....P34

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

1 シーン設定

グループごとに色や明るさを設定します。

- 1  メインメニューから  シーン設定 をタップします。
- 2 シーン一覧から設定するシーン名を選択します。
- 3 シーンを使用するグループを選択します。
- 4 グループごとの調光率を設定します。
⊕ボタン、⊖ボタンをタップするごとに5%ずつ増減します。
- 5 保存をタップし、設定を保存します。
※保存のみでは設定は反映されません。
- 6 保存が完了したら  シーン設定を送信 をタップし、ベースモジュールに設定を送ります。

※シーンは15個まで登録できます。

※一度送信すると、再度送信できるようになるまで数分かかります。

※ [シーン名]を任意の名称に変更することができます。

※シーン設定を送信すると、配灯画面に戻ります。

※設定が反映されるまで時間が掛かります。

1 シーン設定 つづき

2 設定するシーン名を選択

3 シーンを使用するグループを選択

4 グループごとに調光率と調色を設定

1回のタップで5%減少

1回のタップで5%増加

現在設定されている状態をシーンに反映

5 現在のシーン設定を保存
※保存のみでは設定が反映されません。

✓を入れるとグループが有効
✓を外すと無効

6 保存した設定をベースモジュールに送信

2 スケジュール設定

時間帯ごとの明るさを設定します。

- 1** メインメニューから スケジュール設定 をタップします。
- 2** 設定するスケジュールの[詳細設定]をタップします。
通常(曜日スケジュール)とは異なるスケジュールを設定したい場合、
 指定日カレンダー設定、 指定日スケジュール詳細設定 から行います。
(→P34)

2 スケジュールの詳細を選択

スケジュールの詳細を選択

スケジュールを複数有効にすることはできません。

既存のスケジュールをコピーし、新たなスケジュールを作成することができます。

スケジュールの名称を変更したい場合は、「」をタップし、[スケジュール名称の変更]から入力後、[確定]をタップしてください。

2 スケジュール設定 つづき

3 設定を行うグループ・曜日を選択します。

4 スケジュールを設定します。

3-① グループ選択

※「すべてのグループ」を選択すると、全グループを一括で設定できます。

次の開始時刻を入力

3-② 曜日選択

※「すべての曜日」を選択すると、全曜日を一括で設定できます。

時間帯ごとの調光・調色を設定

グループ選択

「切替速度」を指定後、「+」をタップすると行が追加されます。
※最大登録数は50行です。

4 スケジュール設定画面

センサーのON/OFFを設定できます。センサーをONにすると、あらかじめ設定したセンサーモードで照度センサーまたは人感センサーに反応します。

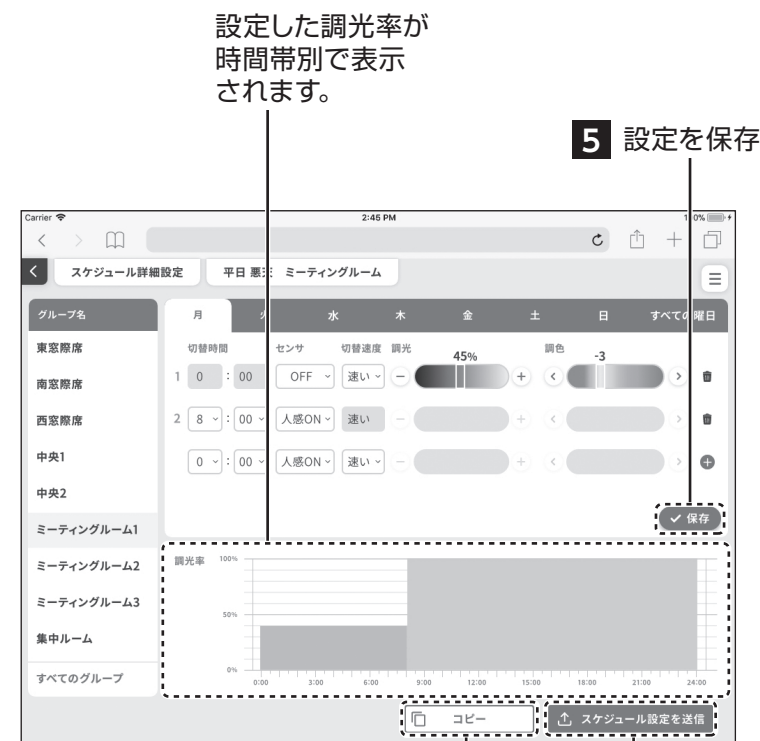
調光・調色の切替速度を選択できます。

速い	▼	…約30秒
標準		…約60秒
遅い		…約90秒

※秒数は予告なく変更することがあります。

5 スケジュールの入力が完了したら、**✓ 保存** ボタンをタップし設定を保存します。

6 **↑ スケジュール設定を送信** をタップし、ベースモジュールに設定を送ります。



5 設定を保存

設定した調光率が時間帯別で表示されます。

6 ベースモジュールへ設定内容を送信

表示中の設定内容を他のグループ・曜日に反映できます。

3 指定日スケジュール設定

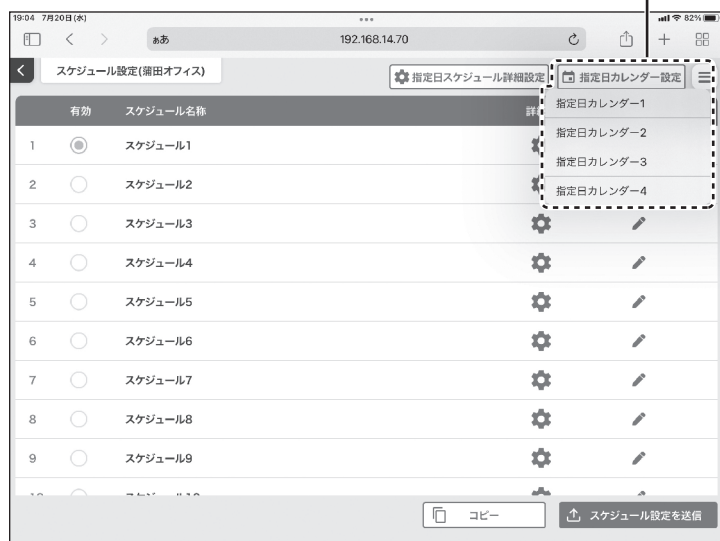
通常とは異なるスケジュールの色や明るさを設定します。

1 メインメニューから 指定日スケジュール詳細設定 をタップします。

2 指定日カレンダー設定 をタップし、指定日カレンダー1 ~ 指定日カレンダー4 のいずれかをタップします。

※指定日カレンダーは4つまで設定できます。また、設定内容は「指定日カレンダー1」～「指定日カレンダー4」の順で優先して反映されます。通常（曜日スケジュール）とは異なるスケジュールを設定したい場合、 指定日カレンダー設定 、 指定日スケジュール詳細設定 から行います。

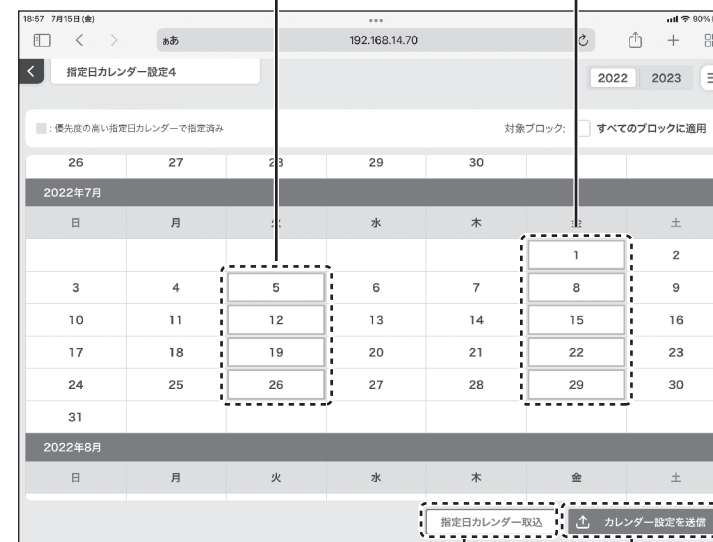
2 指定日カレンダー1～4を選択



3 設定を行う日をタップします。

4 カレンダー設定を送信 をタップし、ベースモジュールに設定を送ります。

3 設定を行う日をタップすると、枠が付きます。



4 ベースモジュールへ設定内容を送信

あらかじめ設定した指定日を読み込むことができます。

3 指定日スケジュール設定 つづき

5  指定日スケジュール詳細設定 をタップします。

※例えば、指定日スケジュール1 は 指定日カレンダー1 の色や明るさを設定します。

5 指定日スケジュール
1～4を選択。



6 P30の2スケジュール設定 4と同様、スケジュールを設定をします。

システム設定

照明の制御を行ううえでの設定を行います。

本項は配灯画面 (192.168.14.70:8001~:8004) からのシステム設定画面の項目の説明をします。



初期の設定については当社担当が行いますので、変更の必要がある場合のみ操作してください。

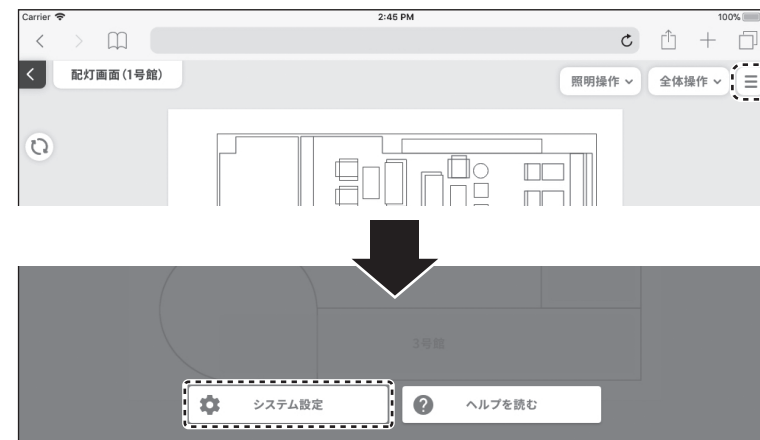
- 1 システム設定画面への移動 P39
- 2 システム設定項目 P40
- 3 グループ設定 P42
- 4 インポート／エクスポート設定 P44
- 5 システム最大調光率 P45
- 6 センサ設定 P46
- 7 照度センサ設定 P47
- 8 人感センサ設定 P49
- 9 起動時点灯設定 P52

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

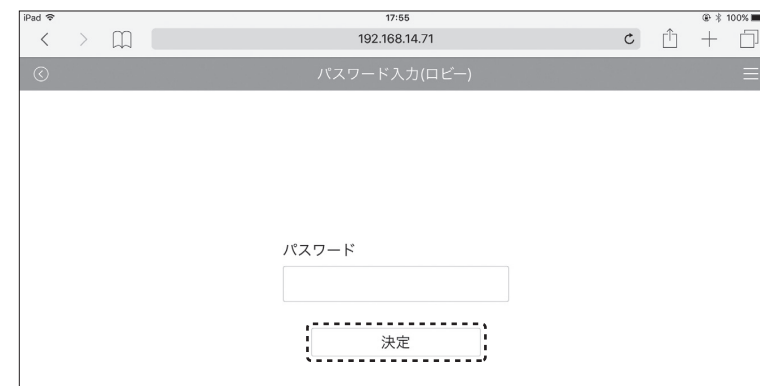
※スイッチ設定とシステム時刻設定はベースモジュール画面 (192.168.14.70:8000) から設定可能です。P57、60「3 スイッチ設定」をご覧ください。

1 システム設定画面への移動

- 1  メインメニューボタンをタップし、 システム設定 ボタンをタップします。



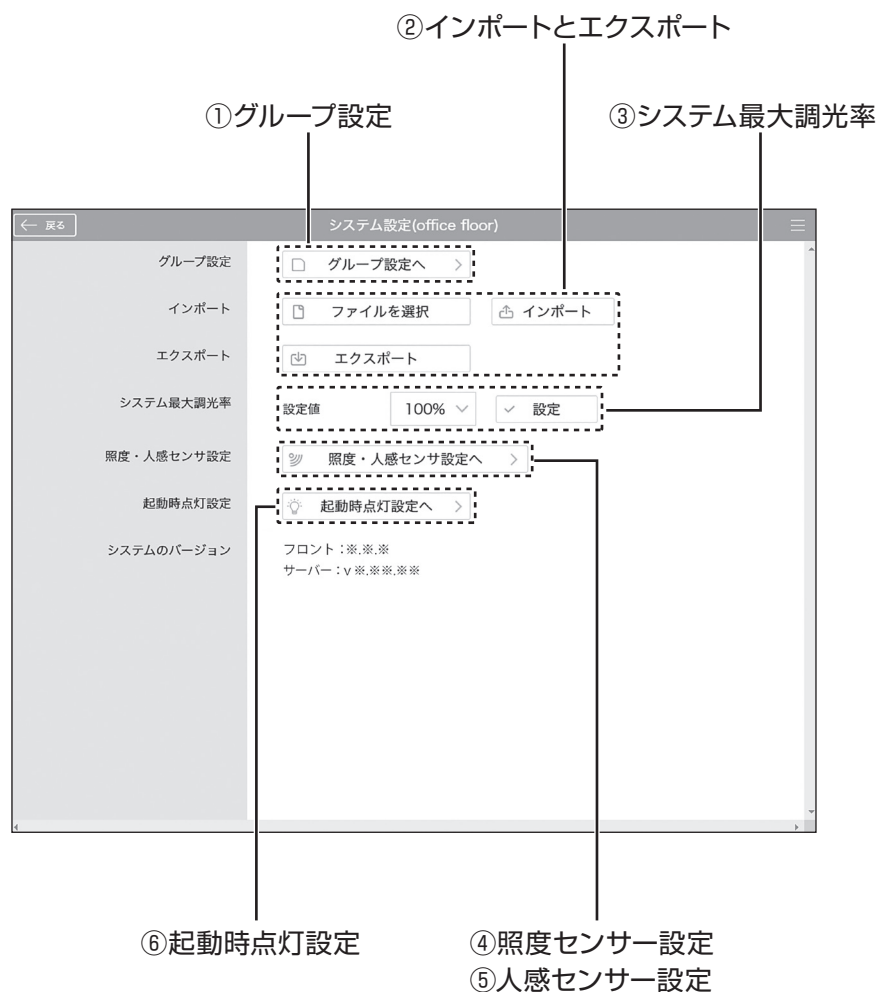
- 2 パスワード入力を求められますので、入力して  決定 ボタンをタップします。



※パスワードは導入時に当社からお伝えします。
お忘れの場合は当社担当にお問い合わせください。

2 システム設定項目

システム設定の各項目の設定を行います。



■設定項目

①グループ設定

グループ設定（設定方法はP42 グループ設定）をご覧ください。

②インポートとエクスポート

LiCONEXのベースモジュール設定情報を別のLiCONEXベースモジュールへ移行できます。（パソコンでのみ操作できます。）

・インポート

LiCONEXのベースモジュール設定情報をインポートできます。

ファイルを選択し **インポート** をクリックしてください。

・エクスポート

LiCONEXのベースモジュール設定情報をファイルに書き出します。

（設定方法はP44「4 インポート／エクスポート設定」をご覧ください。）

③システム最大調光率

制御上の調光率の最大値を設定します。（50%～100%）

設定値を入力し **設定** をタップします。

例：システム最大調光率の設定値が50%のとき、照明を100%調光すると、定格の50%分の明るさとなります。

（設定方法はP45「5 システム最大調光率」をご覧ください。）

④照度センサー設定

（設定方法はP47「7 照度センサ設定」をご覧ください。）

⑤人感センサー設定

（設定方法はP49「8 人感センサ設定」をご覧ください。）

⑥起動時点灯設定

（設定方法はP52「9 起動時点灯設定」をご覧ください。）

3 グループ設定

複数の照明をグループとして登録します。
(最大100グループまで登録可能です。)

1 システム設定から ☐ グループ設定へ> をタップします。

2 -A 新規でグループを追加する場合

☐ 新規グループ追加 をタップします。

※新規グループを追加した場合、使用していない最初のグループNo.が割り当てられます。

2 -B 現状のグループを編集する場合

編集するグループNo.を選択します。
配灯図グループに、そのグループNo.に所属している照明アイコンが選択状態となります。
選択中のグループNo.の名称を変更する場合は

グループ名称
○○○○○○…… に任意のグループ名を入力します。

3 照明アイコンをタップし、グループに追加、またはグループから削除します。

4 グループにセクションを設定する事ができます。※

セクションとは、配灯画面にて設定したグループをピックアップして表示することができる機能です。セクションNo.を選択し、セクション名称を入力します。
※セクション設定は未設定でも問題ありません。
※セクションの最大設定数は100です。

5 選択が完了したら ☐ グループ登録 をタップして保存し、

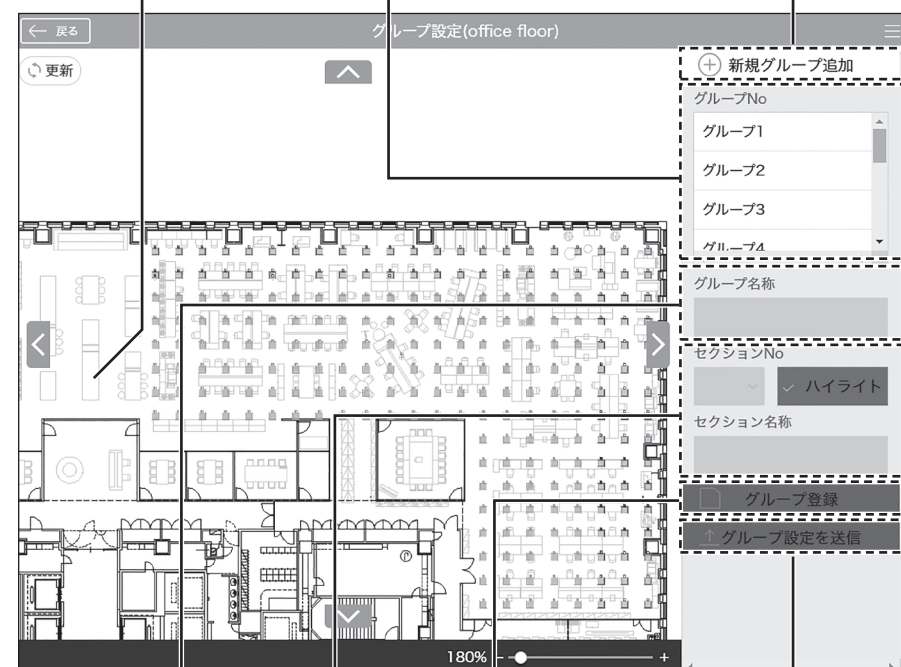
☐ グループ設定を送信 をタップしてベースモジュールに設定内容を送ります。
設定が反映されるまで時間が掛かります

※ひとつの照明はひとつのグループNo.にのみ登録できます。
別のグループNo.に登録すると、元のグループNo.からは削除されます。

3 照明アイコンをタップ
グループに追加する照明を
選択します。

2 -B 編集するグループNo.を
選択

2 -A 新規グループを
追加



選択中のグループNo.
の名称を変更可能

5 修正内容を
保存

5 ベースモジュールへ
設定内容を送信

4 選択中のグループNo.の
セクションNo.、セクション
名称を設定可能※
「ハイライト」を選択すると、
選択中の照明が色分けされ
ます。

※グループ表示を配灯画面で
ピックアップ表示するための
機能

4 インポート／エクスポート設定

インポート

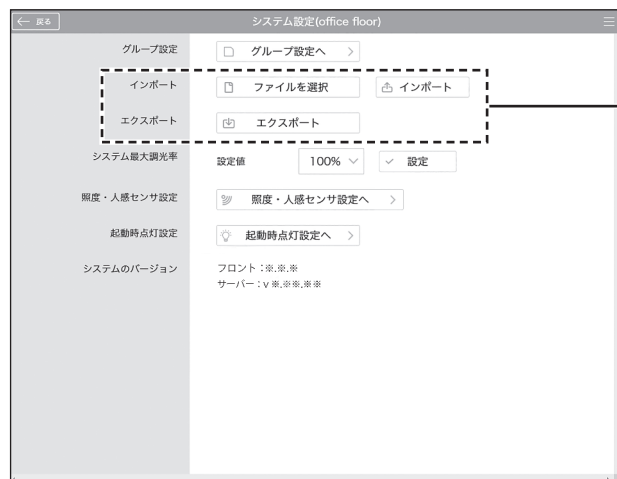
・設定ファイル（事前にエクスポートしたファイル（P41））をベースモジュールに反映させます。

- 1 ファイルを選択 をタップします。
- 2 LiCONEX設定専用ファイルを選択します。
※詳細は当社担当にお問い合わせください。
- 3 インポート をタップします。

エクスポート

・ベースモジュール内の情報から設定ファイルを生成します。
（グループ設定やセンサー設定、スケジュール設定など、変更した設定内容のバックアップを取得します。）

- 1 エクスポート をタップします。
表示されたメッセージの[ダウンロード]を選択します。
画面の表示にしたがって保存先を選択します。
- 2 「（配灯画面名）_backup.json」がダウンロードされます。



- 1 インポートの場合
インポートするファイル
を選択し、[インポート]
をタップします。
エクスポートの場合
エクスポートをタップ
し、[ダウンロード]を
選択します。

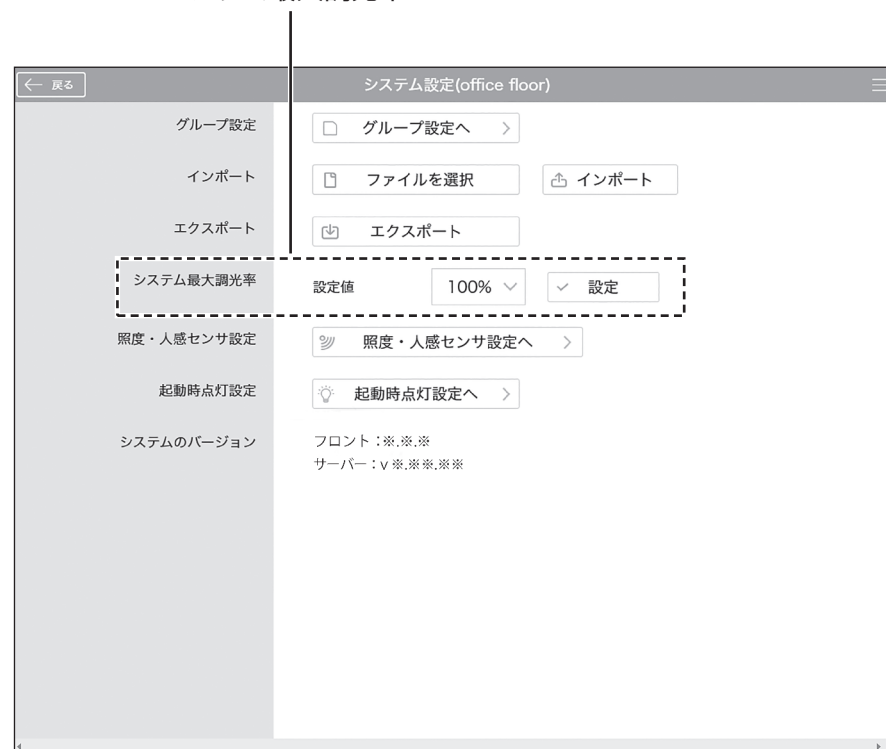
5 システム最大調光率

制御上の調光率の最大値を設定します。（50%～100%）

設定値を入力し をタップします。

例：システム最大調光率の設定値が50%のとき、照明を100%調光すると、定格の50%分の明るさとなります。

システム最大調光率



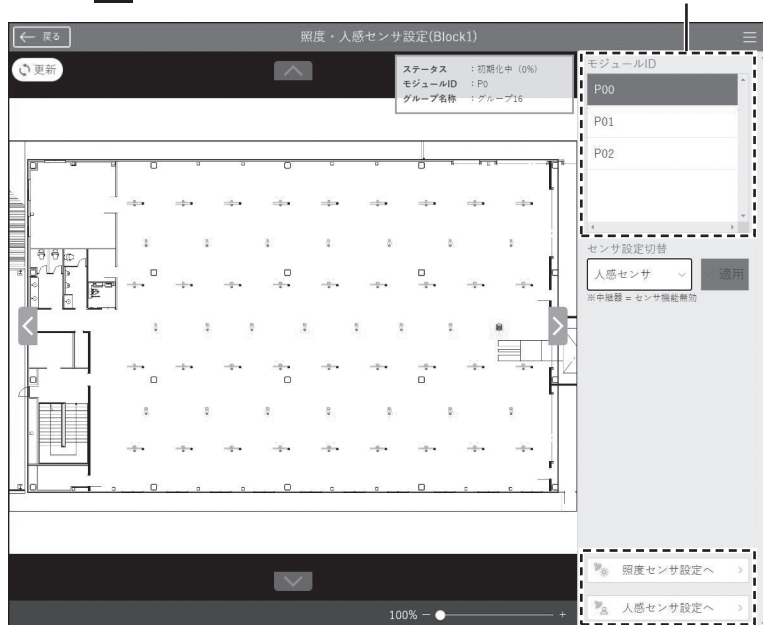
6 センサ設定



センサとそれに連動して動作する照明の紐づけ設定を変更することはできません。変更する場合には、当社担当までお問い合わせください。

- 1 システム設定から、 照度センサ設定へ > 人感センサ設定へ > をタップします。
- 2 センサ番号から設定するセンサを選択します。
(配灯図からセンサのアイコンを選択し、照明情報を表示するとセンサ番号を確認できます。)
※同じシステム内に設置可能なセンサ数は、最大400台です。

2 設定するセンサ番号を選択 (センサ数:最大400台まで)



各設定画面へ移動

照度センサ設定へ ▶ P47 人感センサ設定へ ▶ P49

7 照度センサ設定

※照度センサをONにすると通常の調光はできなくなります。

照度センサを適用するための設定を行います。

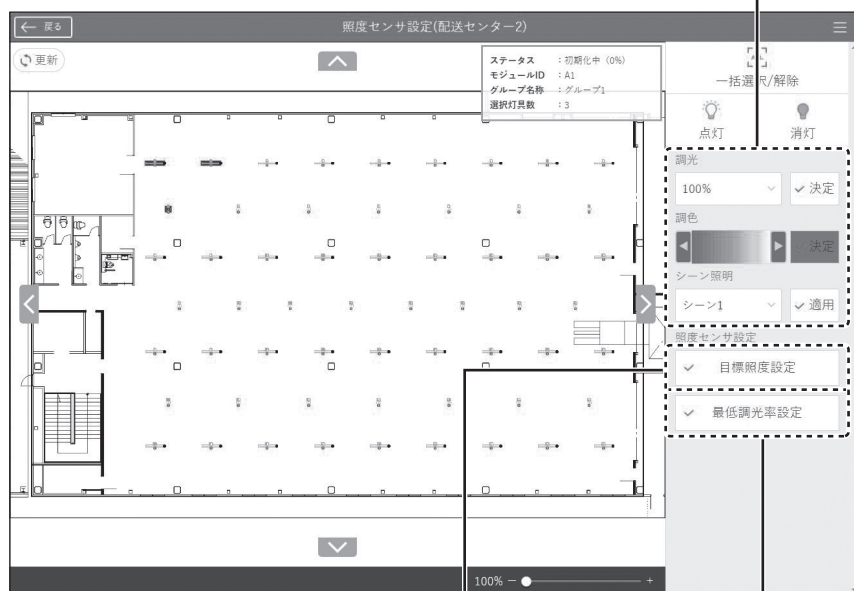
- 1 システム設定から、 照度・人感センサ設定へ をタップします。
- 2 照度センサ設定へ をタップします。
- 3 室内が維持したい明るさになるように、調光設定で調整します。
※照度センサの値は外光が影響します。
設定の際はなるべく外光が入らない環境で実施してください。
- 4 [目標照度設定] ボタンをタップすると、その明るさを記憶し、設定を完了します。
- 5 [最低調光率設定] ボタンをタップすると、最低調光率の%値 (0~100% (5%刻み)) を設定します。
※照度センサは 1台/センサグループ が設定上限になります。
※設定された周囲環境 (明るさ、レイアウトなど) に変更があった場合は再設定が必要です。
※マルチセンサ (別売) の機能切り替えはセンサ設定 (P25) をご覧ください。
※マルチセンサは別売です。当社担当にお問い合わせください。

センサグループとは

- ・センサとそれに連動して動作する照明の組合せを「センサグループ」と呼びます。
- ・センサグループの設定を変更することはできません。
変更する場合には、当社担当までご連絡ください。
- ・センサグループは、1ブロックあたり100グループまで設定することができます。
- ・照度センサとして使用できるセンサ数は1台、人感センサとして使用できるセンサ数は30台です。

7 照度センサ設定 つづき

- 3** 維持したい明るさになるように、
[調光]、[調色]、[シーン照明]から調整



- 4** 照度を維持するために、現在の
室内の明るさを記録します。

- 5** 室内の最低調光率を設定します。
※最低調光率を設定するには、照度センサが
存在するグループ内の各照明の調光率を合わ
一致させる必要があります。

8 人感センサ設定

人感センサの詳細設定を行います。

- 1** システム設定から、 照度・人感センサ設定へ をタップします。

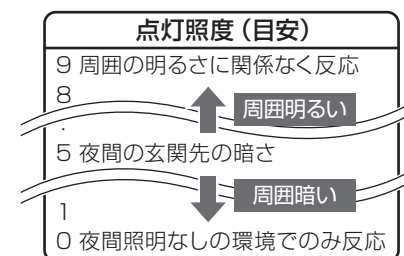
- 2** 人感センサ設定へ をタップします。

- 3** センサ番号から設定する人感センサを選択します。

(配灯図から人感センサのアイコンを選択し、照明情報を表示するとセンサ
番号を確認できます。)

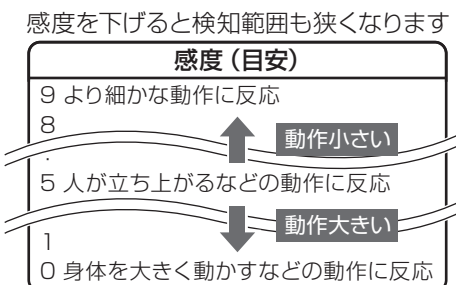
- 4** 各種設定する。

- ・点灯継続時間 … 人の動きを感知しなくなってから減光するまでの時間です。
(15秒刻み、最大3600秒)
- ・点灯照度設定 … 人感センサが起動する周囲の照度を設定します。
(0～9レベル)



- ・感度 …………… 人の動きに対する感度を設定します。
(0～9レベル)

※一部感度固定の製品があります。
詳細は商品の取扱説明書を
ご覧ください。



8 人感センサ設定 つづき

- ・点灯調光率 … センサ反応時の点灯する明るさを設定します。
(0～100% (5%刻み))
- ・減光率 …… 人の動きがない際 (待機時) の明るさを設定します。
(0～100% (5%刻み))

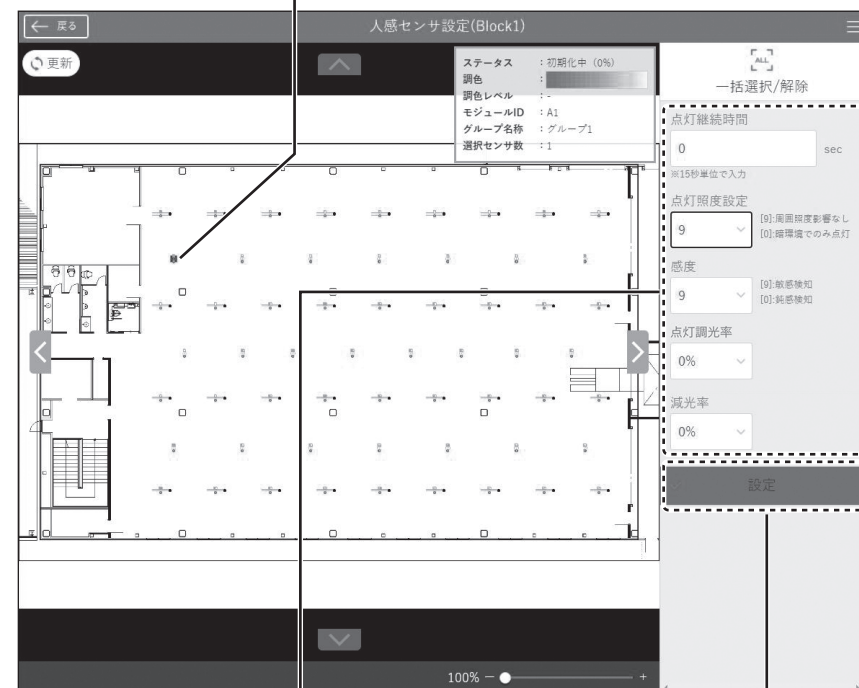
5 ✓ 設定 ボタンをタップして設定を完了させます。

- ※センサについての詳細は、マルチセンサ (別売) の取扱説明書をご覧ください。
- ※人感センサは 30台/センサグループ が設定上限になります。
- ※マルチセンサは別売です。当社担当にお問い合わせください。

センサグループとは

- ・センサとそれに連動して動作する照明の組合せを「センサグループ」と呼びます。
- ・センサグループの設定を変更することはできません。
変更する場合には、当社担当までご連絡ください。
- ・センサグループは、1ブロックあたり100グループまで設定することができます。
- ・照度センサとして使用できるセンサ数は1台、人感センサとして使用できるセンサ数は30台です。

3 設定するセンサをタップ



4 各種設定

- ※一部感度固定の製品があります。
詳細は商品の取扱説明書をご覧ください。

5 設定内容を確定

9 起動時点灯設定

起動時の点灯設定を行います。

- 1 システム設定から **起動時点灯設定へ** をタップします。
- 2 設定する照明を選択します。
すべての照明を選択するには **一括選択/解除** をタップします。
もう一度タップすると、選択が解除されます。
- 3 起動時点灯設定を選択します。

3 -A システム最大調光率で点灯
現在設定のシステム最大調光率で起動時点灯します。
※0%に設定した場合、起動しても点灯しない状態になりますのでご注意ください。

3 -B 設定した調光率で点灯
調光と調色の設定画面が表示されます。
0%～100%の5%刻みで設定できます。
調色も設定できます。 調色範囲：-10～+10

3 -C 最終状態の調光率で点灯
消灯前の点灯状態の調光率で起動時点灯します。

3 -D 現在の調光率で点灯
各設定画面で設定されている調光率を記憶し、起動時にその調光率を再現します。

A システム最大調光率で点灯

点灯設定

- システム最大調光率で点灯
- 設定した調光率で点灯
- 最終状態の調光率で点灯
- ☐ 消灯状態も記憶
- 現在の調光率で点灯

B 設定した調光率で点灯

点灯設定

- システム最大調光率で点灯
- 設定した調光率で点灯
- 最終状態の調光率で点灯
- ☐ 消灯状態も記憶
- 現在の調光率で点灯

調光
100%

調色

C 最終状態の調光率で点灯

点灯設定

- システム最大調光率で点灯
- 設定した調光率で点灯
- 最終状態の調光率で点灯
- ☐ 消灯状態も記憶
- 現在の調光率で点灯

D 現在の調光率で点灯

点灯設定

- システム最大調光率で点灯
- 設定した調光率で点灯
- 最終状態の調光率で点灯
- ☐ 消灯状態も記憶
- 現在の調光率で点灯

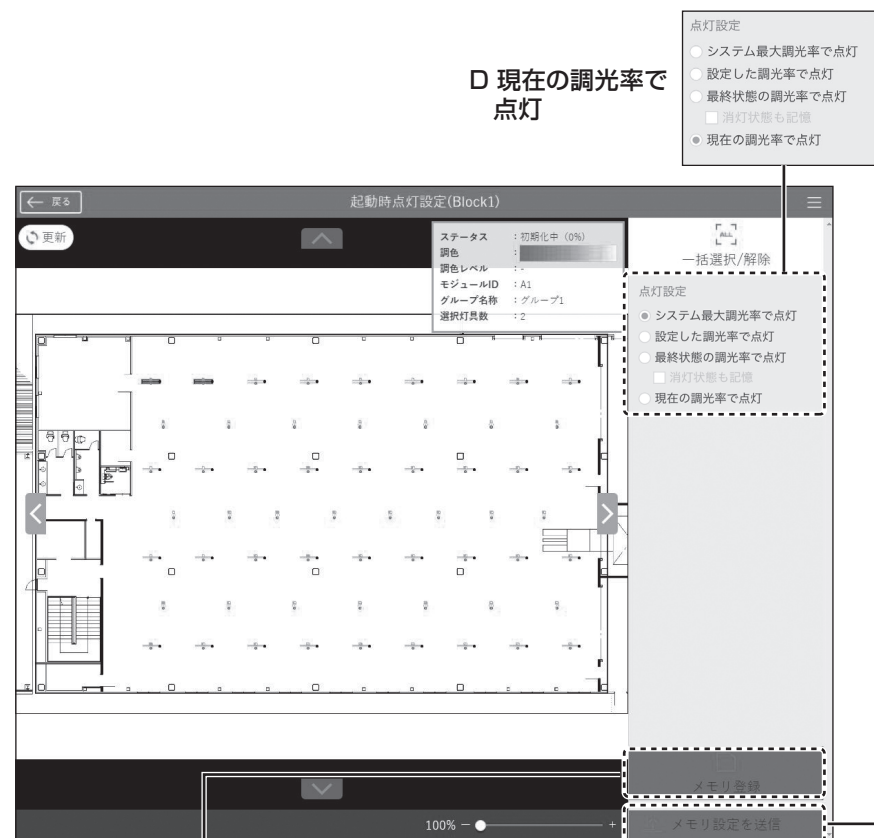
●停電などのあと電源復旧した場合→ネットワーク構築後、設定されてるスケジュールに則って点灯します。

4 **メモリ登録** をタップします

5 **メモリ設定を送信** をタップして、設定が反映されます。

※配灯画面に表示される全照明が対象です。
(「**3 -D 現在の調光率で点灯**」の設定のみ照明単位、操作グループ単位の設定が可能です。)

D 現在の調光率で点灯



4 現在の設定を登録します。
この時点ではまだ設定は反映されません。

5 ベースモジュールへ
設定内容を送信します。

スイッチ設定

ベースモジュール画面（192.168.14.70：8000）から設定可能なシステム設定についての説明です。



スイッチの登録・初期設定は当社担当が行います。ご希望の場合は当社担当までお問合せください。変更の必要がある場合のみ操作してください。

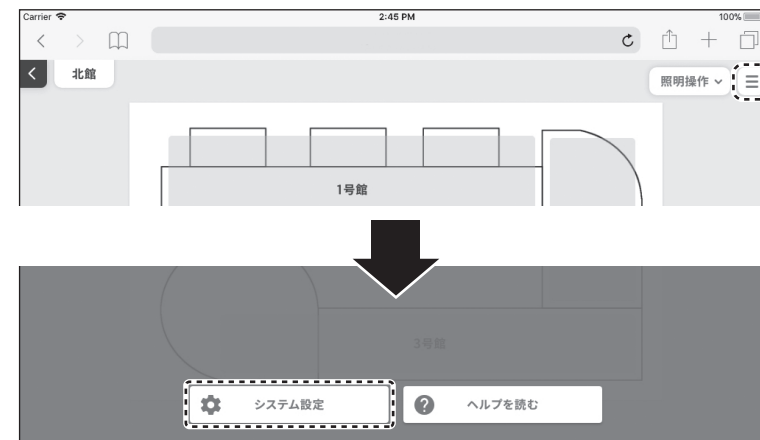
- 1 システム設定画面への移動 P55
- 2 システム設定項目 P56
- 3 スイッチ設定 P57
(壁掛タイプの場合)
- 4 スイッチ設定 P60
(壁埋込タイプの場合)

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

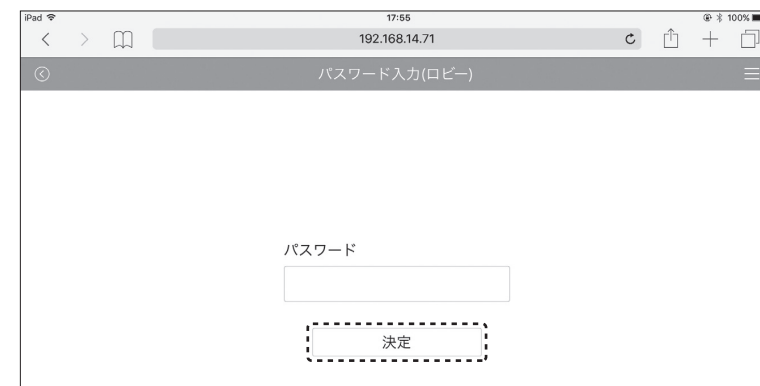
※スイッチ設定は192.168.14.70:8000から実施してください。
(192.168.14.70:8001~8004では設定できません。)

1 システム設定画面への移動

- 1  メインメニューボタンをタップし、 システム設定 ボタンをタップします。



- 2 パスワード入力を求められますので、入力して  ボタンをタップします。

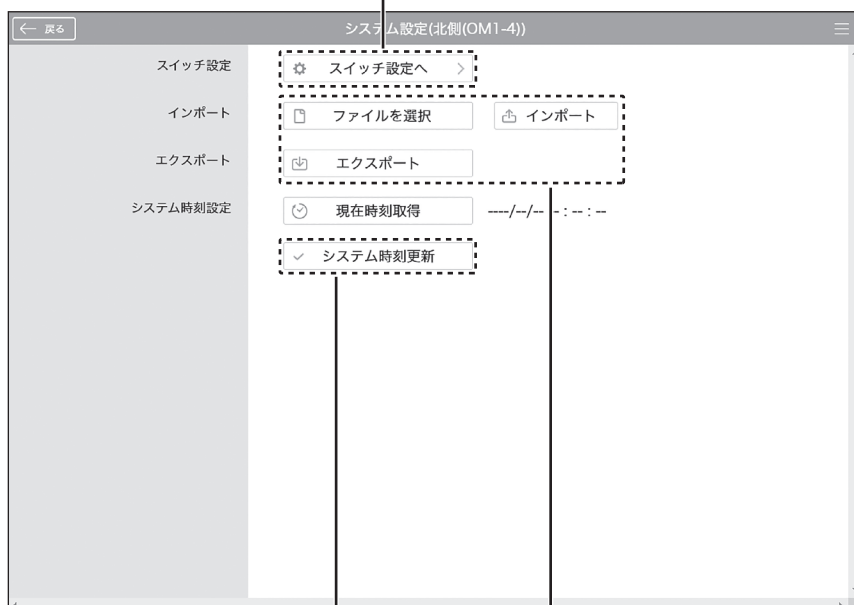


※パスワードは導入時に当社からお伝えします。
お忘れの場合は当社担当にお問い合わせください。

2 システム設定項目

システム設定の各項目の設定を行います。

スイッチ設定ボタン
スイッチ設定画面へ移行します。▶P57, 60



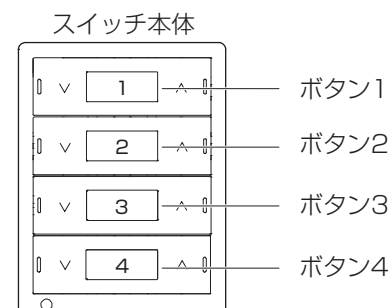
タブレットの時刻とBMの
システム時刻を同期します。
→「時刻を更新してもよろ
しいですか？」
とポップが出るので、
「OK」をタップします。

※事前にタブレットの時刻を
設定しておいてください。

インポート／エクスポート設定
設定情報をインポート／
エクスポートします。

3 スイッチ設定(壁掛タイプの場合)

- 1 設定するスイッチを選択します。
- 2 設定を行うボタンの番号をタップし、選択します。
スイッチの「V」「^」に対して、上からボタン1～ボタン4が対応して
います。また、短押しと長押し(2秒以上)それぞれの設定ができます。



- 3 グループ、全グループまたはシーンを選択します。
グループは複数選択可能です。選択したグループのリストがグレイアウト
します。全グループを選択すると、リストエリアが全てグレイアウトします。
- 4 選択したグループの調光または調色を設定します。

・スイッチ本体での操作設定例

調光

V : 短押しすると暗くなります。長押しすると消灯します。
^ : 短押しすると明るくなります。長押しすると点灯します。

調色

V : 短押しすると1段階電球色に近づきます。長押しすると
100%電球色になります。
^ : 短押しすると1段階昼光色に近づきます。長押しすると
100%昼光色になります。

3 スイッチ設定(壁掛タイプの場合) つづき

- 5** 調光・調色のジャンプ率(変化量)を選択します。
 調光: 明るくまたは暗くするジャンプ率を10、20、30、40、50%から選択
 調色: 一段階下げる、または一段階上げるを選択
- 6** 設定を送信します。
 ※設定できるスイッチの台数は、1ベースモジュールあたり50台です。

1 設定するスイッチを選択

2 ボタンを選択

4 調光か調色いずれかを選択

選択したグループに設定がされていない場合や複数グループを設定した場合は現在の設定は表示されません。
 ※トグル動作とは、同じボタンで点灯と消灯を切り替える動作のことです。

「ボタンの設定をクリア」を選択すると各ボタンの設定がクリアできます。

3 グループ、全グループまたはシーンを選択

6 設定を送信

5 調光または調色のジャンプ率を選択

コピー スwitchの設定をコピーできます。

コピー内容を反映 スwitchの設定を反映します。

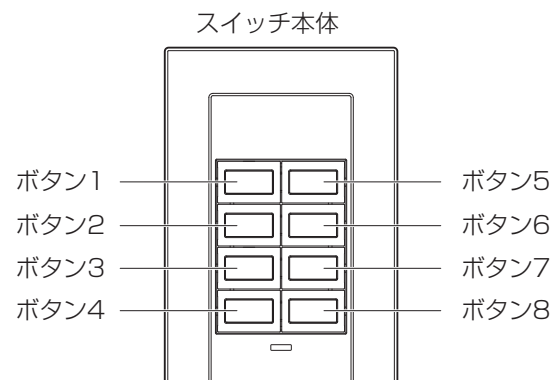
5 調光または調色のジャンプ率を選択

4 スイッチ設定（壁埋込タイプの場合）

1 設定するスイッチを選択します。

2 設定を行うボタンの番号をタップし、選択します。

ボタンの位置に対して、左上から「1」～「8」が対応しています。
また、短押しと長押し（2秒以上）それぞれの設定ができます。



3 グループ、全グループまたはシーンを選択します。

グループは複数選択可能です。選択したグループのリストがグレースアウトします。全グループを選択すると、リストエリアが全てグレースアウトします。

4 選択したグループの調光または調色を設定します。

・スイッチ本体での操作設定例

調光

「1」：短押しすると暗くなります。長押しすると消灯します。

「5」：短押しすると明るくなります。長押しすると点灯します。

調色

「2」：短押しすると1段階電球色に近づきます。長押しすると100%電球色になります。

「6」：短押しすると1段階昼光色に近づきます。長押しすると100%昼光色になります。

（長押しの設定方法はP63参照）

5 調光・調色のジャンプ率（変化量）を選択します。

調光：明るくまたは暗くするジャンプ率を10、20、30、40、50%から選択

調色：一段階下げる、または一段階上げるを選択

6 設定を送信します。

※設定できるスイッチの台数は、1ベースモジュールあたり50台です。

4 スイッチ設定（壁埋込タイプの場合）つづき

1 設定する
スイッチを選択

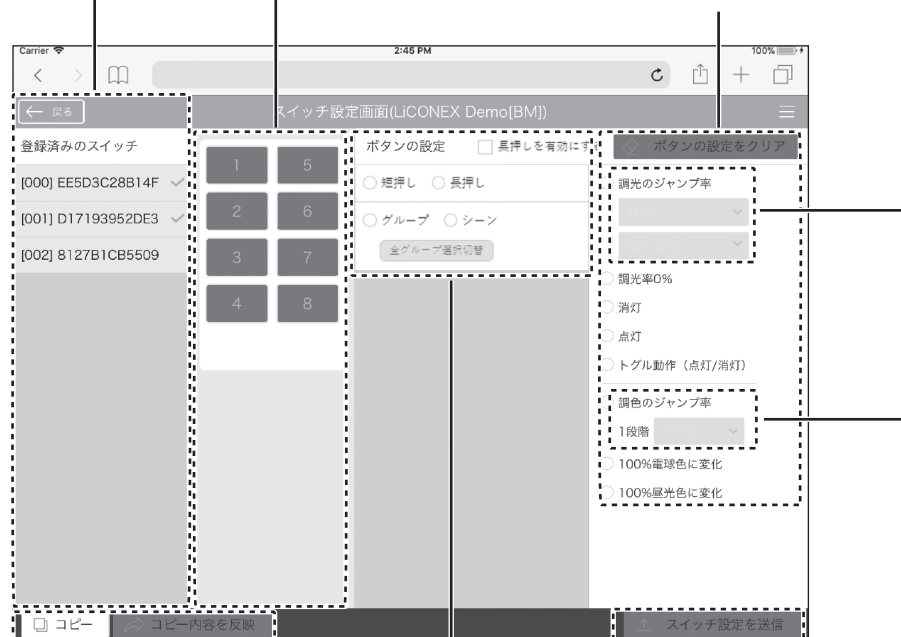
2 ボタンを選択

4 調光か調色いずれかを選択

選択したグループに設定がされていない場合や
複数グループを設定した場合は現在の設定は表示
されません。

※トグル動作とは、同じボタンで点灯と消灯を
切り替える動作のことです。

「ボタンの設定をクリア」を選択すると各ボタンの
設定がクリアできます。



3 グループ、全グループ
またはシーンを選択

6 設定を送信

5 調光または調色の
変化量を選択

コピー スイッチの設定をコピー
できます。

コピー内容を反映 スイッチの設定を反映します。

■長押しの設定方法

※設定を行うボタンがあらかじめ短押しの設定を完了していること確認してください。
短押しの設定がされていないと長押しの設定ができません。

- ① 設定を行うボタンの番号を選択します。
- ② 「長押しを有効にする」のチェックを付けます。
- ③ ボタンの設定の「長押し」を選択します。
- ④ 短押しの設定と同様、グループの選択や調光調色の設定を行います。

②③ 「長押しを有効にする」にチェックをすることで、
「長押し」が選択できます。



システム拡張について

LiCONEXシステムの制御台数拡張機能、ベースモジュール同士の連携や操作画面について説明します。

1 ベースモジュールの照明制御台数拡張と複数台構成……………P65

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

1 ベースモジュールの照明制御台数拡張と複数台構成

■ベースモジュールの照明制御台数拡張のしかた

ベースモジュールは拡張ユニット※(別売)を使用することで、照明の制御台数を最大4000台まで拡張できます。

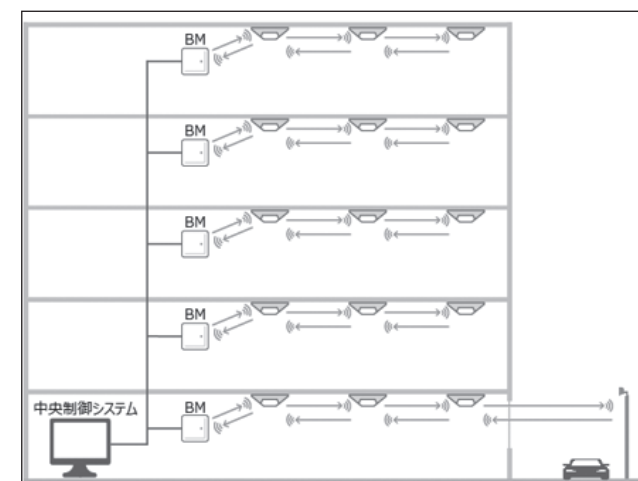
※拡張ユニット1台につき1000台まで制御台数拡張ができます。

※ベースモジュール1台につき最大3台まで拡張ユニットを追加できます。



■ベースモジュールの複数台構成

複数台のベースモジュールを設置した場合、IRIS中央制御システム(別売)を用意することで、1つのPCから全てのベースモジュールを操作できます。



お困りのときは……

現 象	考えられる原因	処 置
点灯しない	壁スイッチ、ブレーカーがOFFになっている	電源を入れてください。
	 の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができなくなります。	 の操作で点灯させてください。
	起動時点灯設定の調光が0%になっている	起動時点灯設定の調光を変更してください(→P52)。
調光できない (タブレット画面が表示されるが操作できない)	LiCONEXネットワークが繋がっていない	電源投入後、ネットワーク接続完了まで約2分お待ちください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している。 (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。
照明のエラー表示が消えない 	 照明ハード異常／設定ファイル更新中	約20分後に再度確認してください ※表示が消えない場合は照明の不具合の可能性があるので、当社担当までお問い合わせください。
	 通信ができていない／電源がOFFになっている	電源が入っていることを確認してください。電源投入後、約20分経過したら再度確認してください。 ※表示が消えない場合は無線環境に問題がある可能性が高いので、当社担当までお問い合わせください。

現 象	考えられる原因	処 置
「配灯画面」を表示できない	タブレットとベースモジュールがWi-Fi接続されていない	●お使いのタブレットとベースモジュール（本機）との距離を20m以内にして操作してください。 ●選択しているWi-Fiネットワーク名やパスワードが正しいことを確認してください。
	WebブラウザのURL間違い	「 http://192.168.14.70:8000~8004 」を入力してください。
	お使いのタブレットの設定上で、Wi-FiのネットワークのHTTPプロキシが「自動／手動」になっている	HTTPプロキシを「オフ」(iOS)または「設定しない」(Android)にしてください。
	お使いのタブレットの設定上で、Wi-FiのネットワークのIPアドレス設定がDHCPになっていない	IPアドレス設定をDHCPにしてください。
調色できない (タブレット画面が表示されるが操作できない)	 の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができなくなります。	 の操作で点灯させてください。

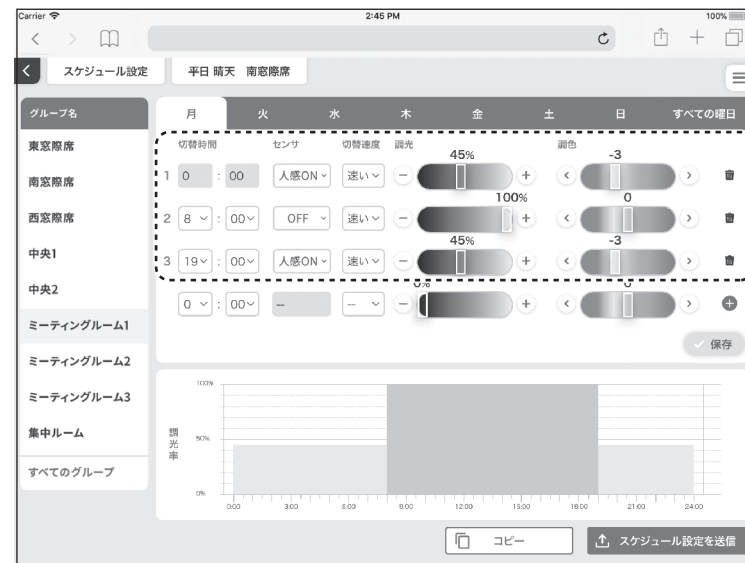
お困りのときは……

現 象	考えられる原因	処 置
時刻設定できない (タブレット画面が表示されるが操作できない)	LiCONEXネットワークが繋がっていない	電源投入後、ネットワーク接続完了まで約2分お待ちください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。
バックアップできない	壁スイッチ、ブレーカーがOFFになっている	電源を入れてください。
	OFF の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができません。	ON の操作で点灯させてください。
各ベースモジュールが操作できない	LiCONEXネットワークが繋がっていない	電源投入後、ネットワーク接続完了まで約2分お待ちください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。

付録

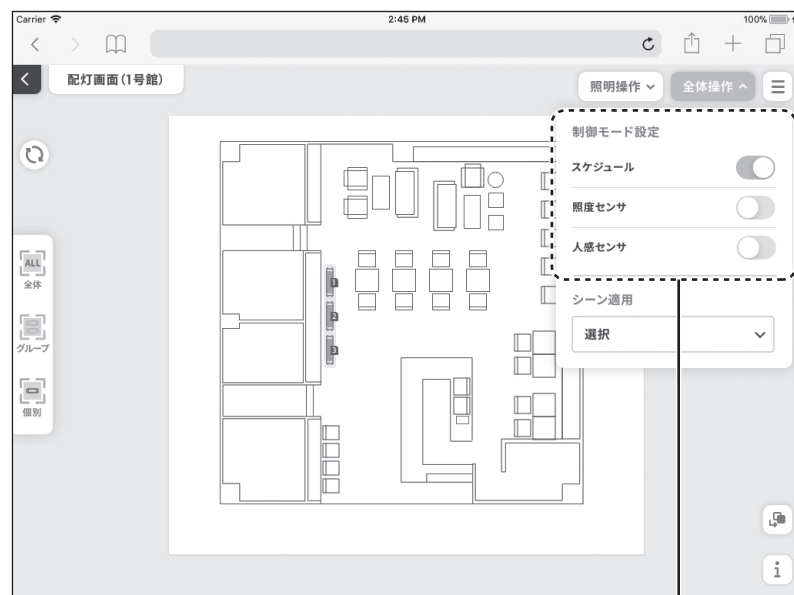
P25 人感センサを時間帯で制御する
(夜間…人感センサをON、日中…人感センサをOFFにする場合)

- 1 メインメニューから **スケジュール設定** をタップします。
- 2 設定するスケジュールの[詳細設定]をタップします。
- 3 設定を行うグループ・曜日を選択します。
- 4 スケジュールを設定します。
- 5 スケジュールの入力が完了したら、 **保存** ボタンをタップし設定を保存します。
- 6 **スケジュール設定を送信** をタップし、ベースモジュールに設定を送ります。



- 4 「スケジュールは0:00から設定します。日をまたいで人感センサをONにする場合は、最初と最後の行の「センサ」を「人感ON」に設定してください。
(画面は、人感センサを19:00～翌8:00でON、8:00～19:00はOFFにした場合です。)

- 7 配灯画面に戻ったあと、画面右上の「全体操作」をタップし、全体操作パネルを表示します。
- 8 全体操作パネルの「制御モード設定」から「スケジュール」をONに、「照度センサ」と「人感センサ」はOFFにします。



- 8 「スケジュール」のみONにする

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源（電圧・周波数）の使用などによる故障および損傷
- ④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
- ⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは（通話料無料）

LED照明サポートコール

0800-111-5300

〈受付時間〉平日9:00～22:00、土・日・祝日9:00～12:00／13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAXでのお問い合わせは
（通話料無料）

0800-111-9300

Webからのお問い合わせは
（メールフォームにご記入のうえ送信してください）

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>